

戦争法案の廃案を目指し力を合わせよう！

かけはし

2015年11月(91号)

社会福祉法人山形虹の会
山形虹の会と福祉を良くする友の会

山形県鶴岡市民田代家田100-1 TEL 0235-25-1131
FAX 0235-25-0810

老人保健施設かけはし内



記念式典・祝賀会



全日本民医連理事 社会福祉法人委員会委員長 片倉博美様

二〇一五年十月七日、グランドエル・サンにおいて一二三名の参加で祝賀会が開催されました。二〇年間の歴史と取り組みをまとめたDVDが放映された後、全日本民医連理事で同社会福祉法人委員会委員長の片倉博美氏による講演「社会福祉法人を取り巻く現状と課題」についてお話をいただきま

社会福祉法人は、社会福祉事業

二〇一五年十月七日、グランドエル・サンにおいて一二三名の参加で祝賀会が開催されました。二〇年間の歴史と取り組みをまとめたDVDが放映された後、全日本民医連理事で同社会福祉法人委員会委員長の片倉博美氏による講演「社会福祉法人を取り巻く現状と課題」についてお話をいただきま

れた法人である事を考え、社会性・公益性と住民の信頼をより積極的に生かした取り組みが重要です。「誰もが安心して生活できる地域づくり(地域包括ケア)を目指し、これからも事業運営と制度改善運動を継続してほしい。」と、訴えられていました。

事務局長 井田 智

発足十五周年



庄内医療生活協同組合専務理事 岩本鉄矢様

山形県庄内支庁 地域保健福祉課長 高橋博美様

鶴岡市健康福祉部長 相澤康夫様



10月5日 記念植樹の様子



山形フィルハーモニー交響楽団 平山秀夫様 平山久美子様

かけはし

国民の反対的な立場にでもかかわらず戦争法案を強行採択した自己権、絶対許されるものではない。さて前号に続き安倍首相が知らぬふりをしたポツダム宣言にふれる。一九四五年七月二六日ドイツのポツダムに米英中国(現台湾政府)ソ連首脳が集い発せられたもので、日本の無条件降伏、日本の民主化、非軍事化、領土不拡大の原則、戦争犯罪人の処罰、国民の基本的人権の尊重、軍事産業の禁止などの内容とするもので、日本国政府は、四五八年八月一四日これを受諾して連合国に降伏した。これがポツダム宣言で、中学生になれば必ずこれを認めたくないためには、「よく知らない」といってはいる。何故? 戦争学ぶものの。が安倍首相は、これまでガンバロウ! 碑ケントは戦争犯人だ。こんなに尊敬する祖父(岸元首相)も、戦争法案を作り戦争するためには、これは、ジヤマ。軍隊を持ち外国と戦争をし、軍事産業を育成し外國に売り込むにもジヤマ。しかし、なぜかたないし。もつと人間は直ちに辞任させないと、戦争法案の撤回は戦争犯罪人だ。こんなに国に皆で、これが実現するまでガンバロウ!



遊びコーナーの魚つりゲームの様子



戦争法案。反対集会に参加して



八月三十日戦争法案に反対する集会が、パル前で取り組まれた。三〇〇人近い人がパル交差点に結集し、いかう車の人を対象に、アピールしました。この鶴岡でも九条の会の人達を中心呼びかけられた集会は戦争法案に対する、いかりが大きくなっていますことを感じました。

法案は强行採決で決まりてしましましたが運動を継続し、廃案にしなければいけないと、強く感じています。頑張っていきましょう。

友の会 三浦澄雄

奥泉ひとみ
老健介護課長



92回友の会市
12月7日(月)

93回友の会市
2016年1月18日(月)

お
知
ら
せ

第19回 かけはし祭り開催

祭りも利用者の方々が堂々と発表され、いつもと違った表情を沢山見ることができました。マイクを振る度に笑顔で応えてくれる姿を見て、私の方が活力をもらい今後も頑張ろう!という気持ちになりました。不慣れな司会ではありますたが、会場が一体となり、有意義な時間を過ごせたとおもいます。

ました。

事務課

佐藤舞



九月二十五・二十六日の二日間、神奈川県横浜市にあるワーケープア横浜を会場に標記集会がおこなわれました。『認知症の方の尊厳を守る』→当時者、支援者の「想いに寄り添う地域包括ケア実現を目指して」をテーマに、延べ七〇三名の方が参

加されました。全国の認知症ケアの状況や、同じ悩み等学ぶことができました。新たな認知症ケアの取り組みの報告もあり、当施設での導入も検討したいと都での開催です。

通所リハビリ主任
高橋あゆみ

全日本民医連 第七回認知症懇話会 inかながわ に参加して

九月一七日標記研修会が庄内町の響ホールにて開催されました。

私達かけはしを含む十三の施設、一一〇名がそれぞれの職種別部会へ別れて参加し、それぞれのテーマに沿って情報・意見交換を行いました。

庄内老健協議会 職種別研修会に参加して

看護職部会では、摂食嚥下障害と吸引・経管栄養について現状や今後の課題等を話し合い、職場は違つても同じ老健施設で働く看護職員としての思いも共有することができます。た良い機会となりました。

老健かけはし二階

看護職 奥山えりか